

## システム全般

- MacOS 10.14 と 10.14.1 に対応。
- [テーブル/フィールド選択ウィンドウ](#)が詳しくなりました。テーブルと使用可能なフィールドに関する追加情報が表示されます。各テーブルのレコード数、アタッチメントタイプ、および説明情報がリスト表示されます。フィールドについてはタイプが表示されます。どちらのリストも、項目数が多い時は任意の列でソートできます。

## WebGIS - 図形タイルセットのエクスポート

- TSD（タイルセット定義）ファイルに階層的構造の凡例を作成します。
- グループおよびサブグループに、「簡潔」および「詳細」説明フィールドを追加できます。
- データティップや凡例の名称に別々の属性を設定できます（「簡潔」と「詳細」フィールドに指定する）。
- KML タイル出力時、情報ウィンドウに名称を含めるかどうかをトグルボタンで切り替え可能。
- 「表示」ウィンドウは、[メインウィンドウ上部のボタン](#)に変更。このボタンを押すと表示ウィンドウが開きます。
- 似たようなコントロールが多数あるので、それぞれの使う状況を説明するツールチップを表示します。

## WebGIS - Geomashup の構築

- グループやサブグループの階層構造を持った凡例がサポートされました。凡例のサイドバーから、グループやサブグループの対象の地物へのズームとハイライトが可能。
- SVG タイルセットのサポートを強化。ホバーとクリック操作および関連する凡例のコントロール。
- KML または TSD から複数のリモートレイヤを追加する場合は、すべてのレイヤに同じカスタム設定を適用します。
- グループ化されたレイヤのズーム範囲を設定すると、個々のレイヤにも適用されます。
- Google マップ : 衛星写真とハイブリッド (衛星写真とラベル) には、別々のベースマップオプションを設定できます。
- 一般的な Web 仕様に準拠した HTML を生成します。
- レイヤへの様々な設定のツールティップ (説明バルーン) を増やし、使用方法を明確にしました。

## WebGIS Google Maps JavaScript

- Javascript ライブラリファイルが新しくなり、以前の動的凡例機能で使われたライブラリファイルと入れ替わりました。
- ブラウザでジオマッシュアップを開くと、レスポンスが早い階層凡例が生成されます。階層的な凡例機能は、SVG ポリゴンタイルセットでも使用できるようになりました。

- 新しい凡例は、マップビューに表示されている地物に基づいて更新する必要も、凡例情報に関してタイルファイルを調べる必要もなくなるため、ブラウザのオーバーヘッド（処理時間）が少なくなります。したがって、マップビュー初期表示や操作時の凡例の構成が速くなりました。さらに、凡例はすべてのマップズームレベルで使用できます。
- 凡例にあるフォルダと地物レベルのチェックボックスとグルを使って、マップ上の地物や地物グループを表示/非表示できます。
- 凡例のフォルダは展開可能で、すべてのレベルでサブフォルダと地物の表示/非表示ができます。フォルダアイコンをクリックして開閉することで、凡例の表示内容をコントロールします（これまで通り、地物レベルでは、地物の色のカラーサンプルが表示されます）。
- 凡例の地物名とフォルダ名は、従来から動的凡例で使用されていた地物名と情報から個別に設定します（「図形タイルセットのエクスポート（Export Geometric Tileset）」を使用）。
- フォルダおよび地物レベルの凡例の項目名にカーソルを合わせると、マップ内の地物または地物のグループが強調表示されます。凡例テキストにカーソルを合わせると、ホバーチップテキストも表示されるようになりました(タイルセットの作成時に設定)。
- 凡例アイテムをクリックすると、マップ上の地物（または地物グループ）が拡大表示されます。
- フォルダまたは地物名の横にある情報アイコンを使って、地物（または地物グループ）に関する追加情報を表示できます。これをクリックすると、地図上の地物の場所に情報バルーンが開きます（カーソルを乗せた時の吹き出し（ホバーティップ）と、マップ上でクリックしたときに情報バルーンで使用される名前や説明は別です）。
- 地物上にカーソルが乗ると、地図上の地物と凡例の該当地物名がハイライト表示されます。この動作は以前と同じですが、凡例がプリロードされているためレスポンスが早くなっています。

- 新しい TSD 凡例構造のないタイルセットは、チェックボックス（レイヤの表示オン/オフ）付きレイヤ名（クリックするとマップがズームする）の凡例で表示されます。非階層凡例レイヤには、凡例構造のない KML ファイル、KML タイルセット、SVG タイルセットがサポートされています。

## 表示

- Bing Maps – v2019 用のすべての TNTgis Pro ライセンスは、引き続き Microsoft Bing Maps レイヤを使用可能です。v2019 をインストールしてアクティブ化すれば以前のバージョンの TNTgis にも適用されます。
- ビューインビューツールは MacOS 用に最適化され、パフォーマンスが向上しました。
- インストールされていない「Datum 変換」オプションを参照するレイヤを追加すると、インストール手順が表示されます。

[手順書（日本語）](#) ↓

[http://www.opengis.co.jp/info/v2018/TNTgis\\_DatumTrans\\_201802.pdf](http://www.opengis.co.jp/info/v2018/TNTgis_DatumTrans_201802.pdf)

- KML にレンダリング：回転したポイントシンボルをサポートします。制御文字をアンダーバーに自動で変換出力し、Google Earth で使えるようにします。

## 画像の分類

- この処理は 2019 年に再設計されました。トレーニングクラスを定義し、結果クラスを操作するためのすべての主なコントロールが [メインウィンドウ](#) に統合されました。

- 表示可能な情報量を最大にするために補助ウィンドウ ([同時生起度](#)、[樹状図](#)、比較/エラー行列など) が更新されました。
- クラスの[マージ](#)が高速になりました。"[マージを元に戻す](#)"操作も同様です。これにより、マージ結果を確定して保存する前に、簡単にテストできます。
- コンポジットカラーラスタをセパレートバンドラスタと一緒に入力ラスタとして選べるようになりました。
- レンジやその他の調整は、入力ラスタごとに個別に指定することができ、すべての入力値がリスト表示されます。
- トレーニングクラスのデフォルトの色の透明度は 50%ではなくなりました。クラスごとにカラーエディタを開閉しなくても、すべてのカラーを一度に編集できます。クラスの色を編集すると、全画面が即座に更新されます。
- クラス名に文字数の制限がなくなりました。
- 入力に「損失の多い」圧縮を使用して結果に影響がある場合は、警告メッセージが表示されます。
- メソッド固有のパラメータのデフォルト値は、後で実行するために保持されます。

## イメージのインポート/エクスポート

- GeoTIFF : インポート時にタイポイントを追加検証し、無効な場合は代替ソースからジオリファレンスを読み取ります。
- E00 : 500 文字を超える可能性のあるフィールドをエクスポートするときの、Latin1 以外の言語の処理を改善しました。

## データベース-図形変換

- 空間オブジェクト（ベクタ、ラスタなど）に含まれるデータベースから変換する場合は、そのオブジェクトのジオリファレンス情報を使用してデフォルトの座標参照系を決定します。

## スクリプト/SML

- ObjectToMap / MapToObject を修正。「ラスタインデックス」ではなく「座標」を求めて、他の変換方法と一致するようにしました。
- 参照されたオブジェクトが破棄され、関数呼び出しによって再び生成されたときに、スクリプト変数エイリアスを更新するいくつかのケースを処理します。
- LayerRaise と LayerLower は、レイヤの位置が実際に変更されたかどうかを示す値を返します（すでにそれぞれ上端または下端にあった場合）。
- WatershedGetObject 関数の "TopographicIndex" オプションを追加。
- LineStyleResetDrawnState 関数を追加。Cartoscript 以外の図面に戻します。

## 画像の空間フィルタ

- メディアンベースのフィルタ "Median"、 "P-Median"、 "MLM"、 "Olympic"、 "AMPM"などを高速化するため最適化しました。

## 座標参照/データム変換

- Easting 座標に「ゾーン」を含む UTM CRS 変数を追加。
- グリッド法を使用して、IGN NTF から RGF93 へのデータム変換をサポート。

## その他の変更

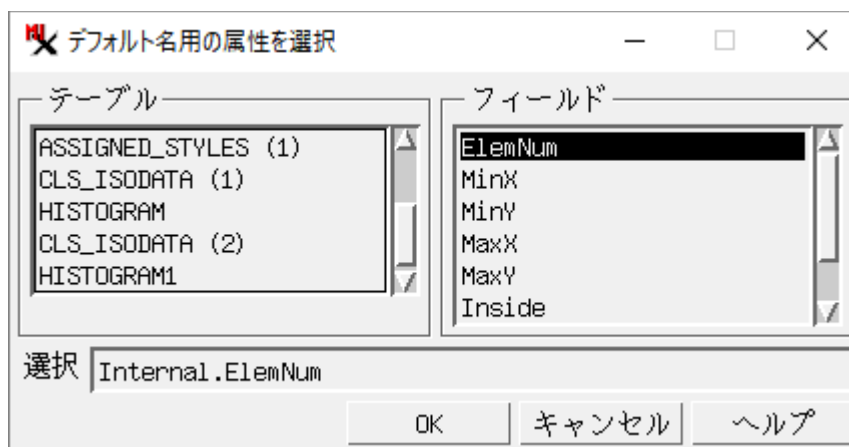
- ラスタのしきい値の決定 (Raster Thresholding) - 入力ラスタの "null"セルを有効にして出力するオプションを追加。
- 画像レンズ補正 (Image Lens Correction) - 新しいカメラとレンズを追加。
- GPS デバイス接続は最大 99 のポート番号が利用可能です。
- [Google Fusion Tables は廃止されました](#)。インポート/エクスポート、ジオマッシュアップの構築、表示等、Fusion Tables を使用する TNTgis プロセスで、この変更が適応されています。現在 Fusion Tables に保存されているデータは、できるだけ早くダウンロードする必要があります。上のリンクにその手順があります。

## テーブル/フィールド選択ウィンドウ

**V2019** レコード数やアタッチメントタイプなどの情報が表示されます



**V2018 以前** テーブル名とフィールド名のみ

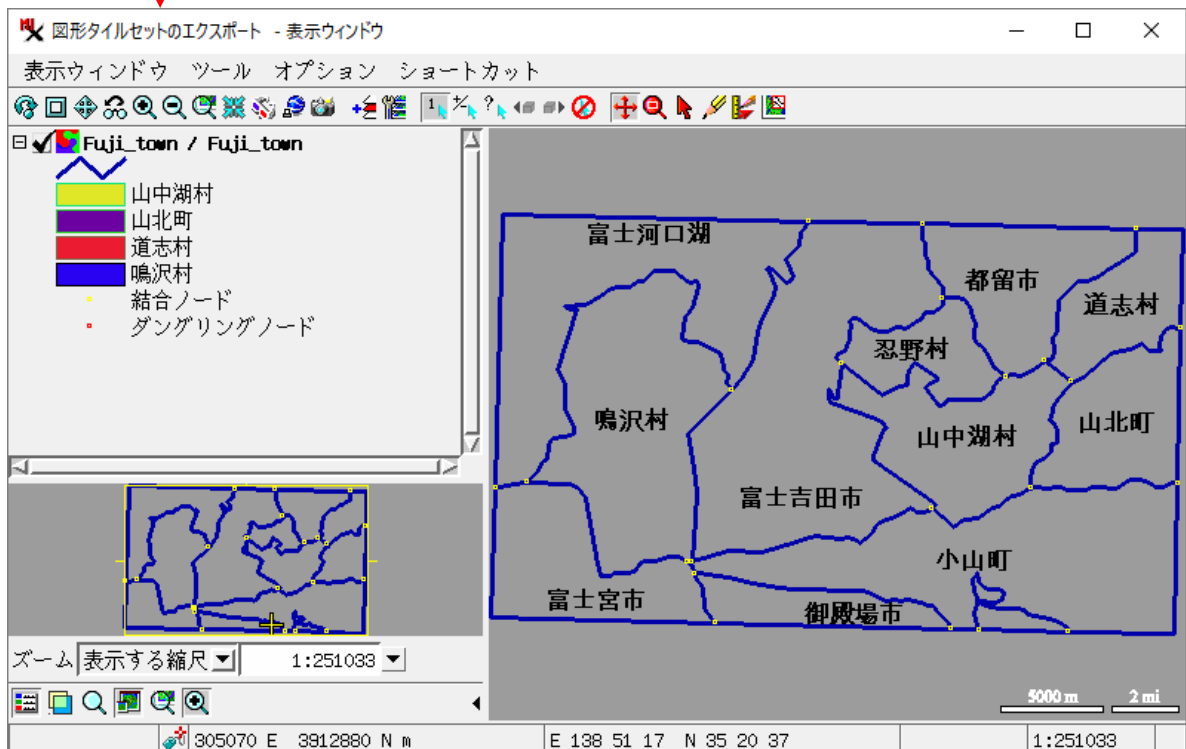
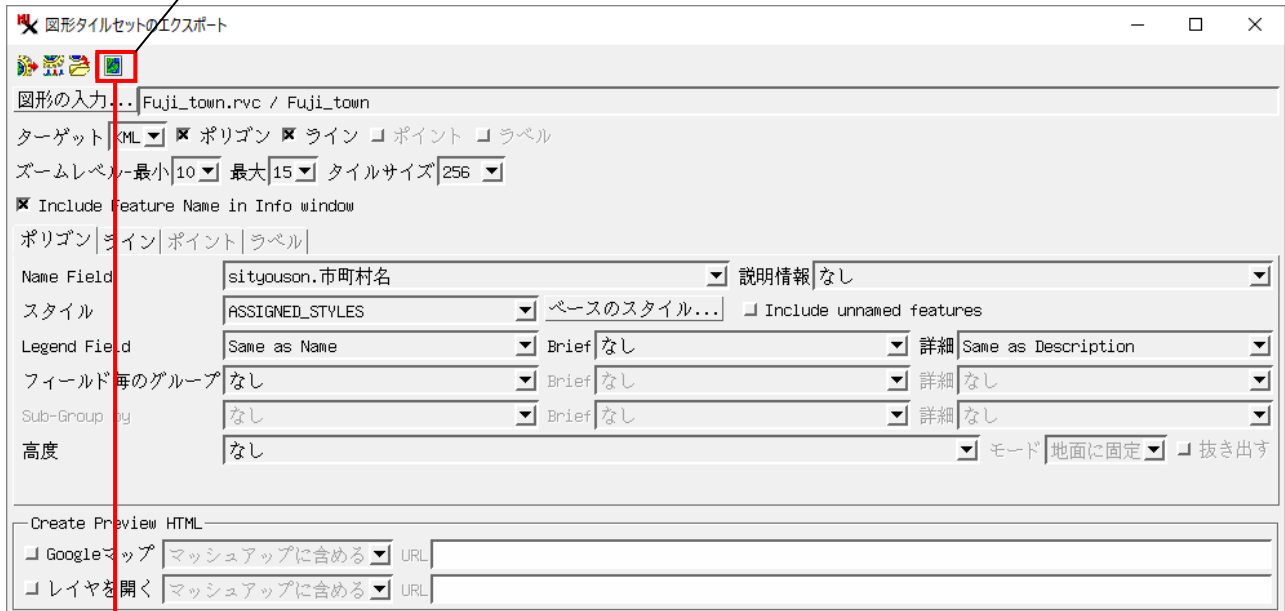


本文に戻る 



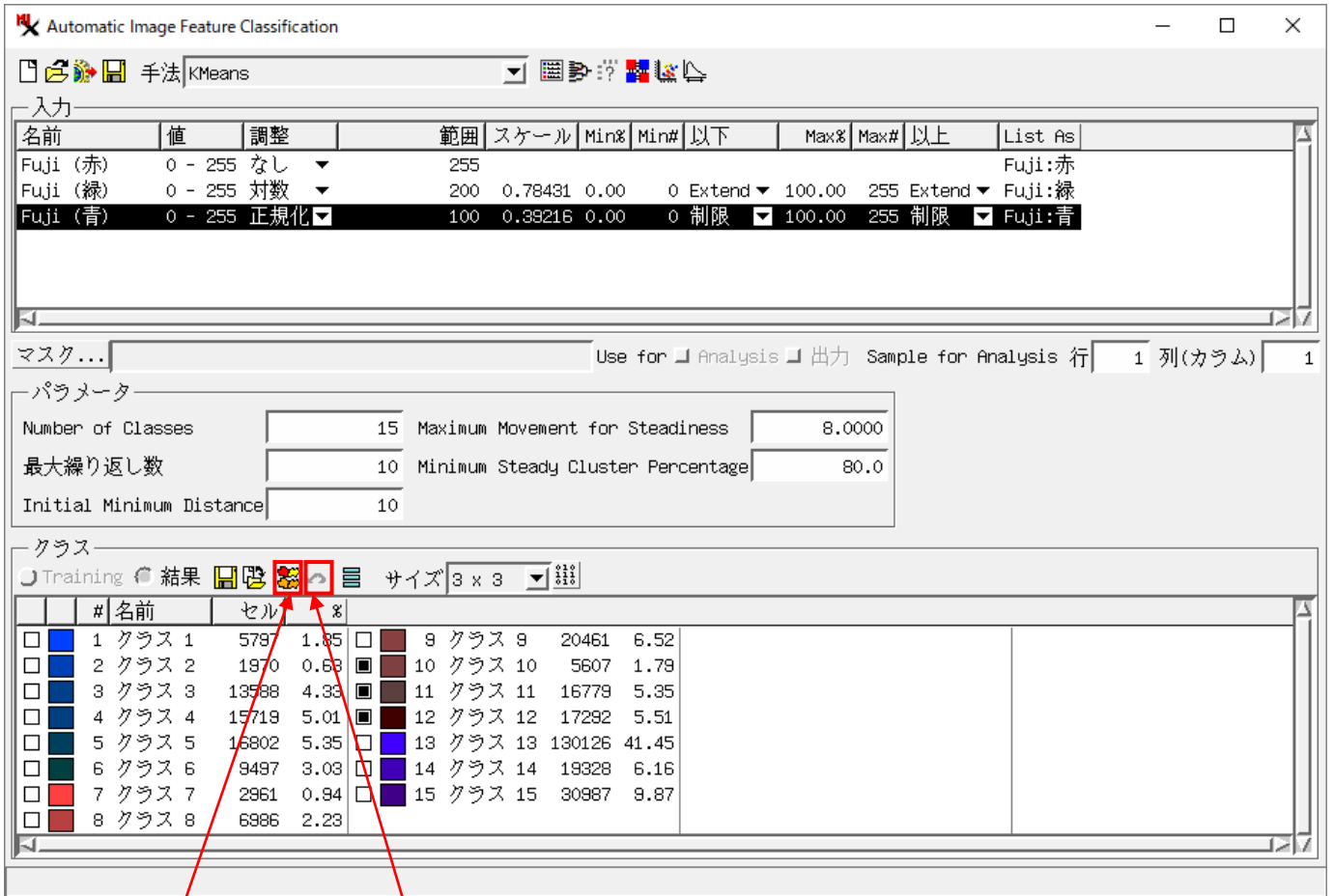
## 図形タイトルセットのエクスポート ～メインウィンドウ上部のボタン

[表示ウィンドウ]ボタン



本文に戻る 

## 画像の分類 ～メインウィンドウ



選択したクラスのマージ

元に戻す

[本文に戻る](#)

画像の分類

同時生起度

Classification Co-occurrence Analysis

Class Size: パーセント    Cooccurrence: Normalized    Separation: Euclidean

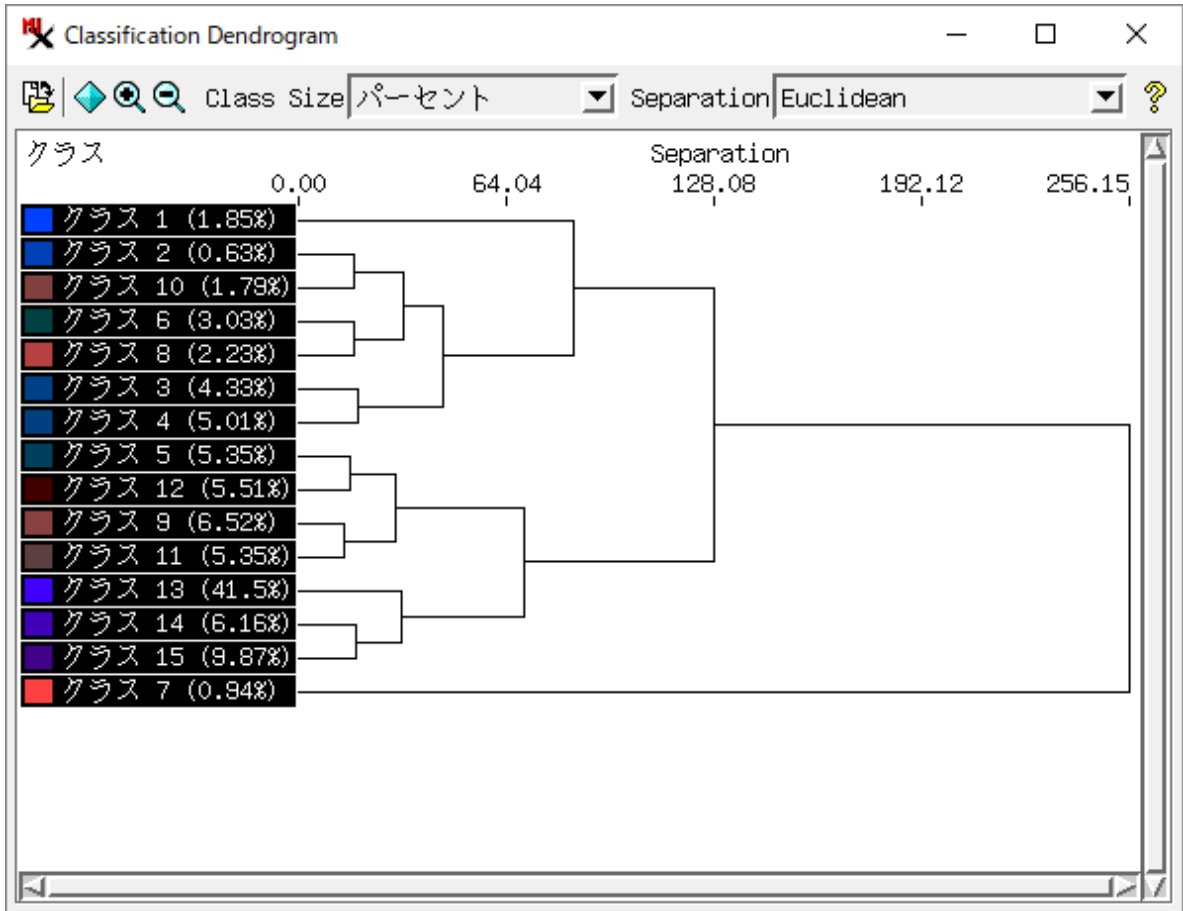
最高の同時生起:    Lowest Separation:   

	1 1.85%	2 0.63%	3 4.33%	4 5.01%	5 5.35%	6 3.03%	7 0.94%	8 2.23%	9 6.52%	10 1.79%	11 5.35%	12 5.51%
クラス 1 1.85%	11.713	5.082	6.439	4.349	2.601	7.718	12.751	8.621	-0.571	13.138	0.342	1.111
クラス 2 0.63%	33.031	1.148	2.771	2.199	1.563	2.561	2.634	3.276	0.470	2.481	0.549	1.041
クラス 3 4.33%	95.184	62.888	14.247	<b>30.416</b>	22.150	23.605	2.200	14.549	6.065	10.293	8.547	14.521
クラス 4 5.01%	112.827	80.318	<b>18.146</b>	15.496	<b>31.710</b>	18.041	1.492	10.623	10.940	6.594	13.460	21.021
クラス 5 5.35%	130.008	97.407	35.689	<b>17.554</b>	15.053	12.571	1.030	7.031	16.349	3.854	18.158	<b>30.231</b>
クラス 6 3.03%	77.988	46.204	<b>17.890</b>	36.036	53.589	9.754	2.860	15.330	2.318	12.179	4.020	7.271
クラス 7 0.94%	118.083	138.994	190.295	203.760	217.382	177.786	7.431	3.639	-0.502	4.995	-0.198	0.381
クラス 8 2.23%	61.023	29.787	34.860	52.942	70.459	<b>17.147</b>	164.708	6.628	1.100	12.492	2.162	4.061
クラス 9 6.52%	173.642	140.977	80.408	62.284	44.761	98.280	252.856	115.004	16.306	-0.654	<b>29.652</b>	22.781
クラス 10 1.79%	42.161	<b>16.902</b>	55.586	73.706	91.241	37.736	152.795	20.811	135.813	8.296	0.172	1.381
クラス 11 5.35%	159.783	127.121	66.148	48.010	30.468	84.031	241.557	100.817	14.320	121.620	10.299	<b>26.221</b>
クラス 12 5.51%	145.589	112.939	51.770	33.636	<b>16.110</b>	69.652	229.683	86.447	28.653	107.247	<b>14.979</b>	13.821
クラス 13 41.45%	230.598	197.999	138.193	120.084	102.570	156.050	302.237	172.685	57.809	193.493	72.117	86.461
クラス 14 6.16%	188.463	155.809	95.456	77.335	59.811	113.325	265.499	130.027	<b>15.051</b>	150.837	29.357	43.701
クラス 15 9.87%	206.137	173.505	113.410	95.294	77.775	131.273	280.729	147.943	<b>42.324</b>	-2.758	<b>28.572</b>	22.811

本文に戻る 

## 画像の分類

### デンドログラム (樹状図)



[本文に戻る](#) 